



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和7年 11 月 28 日(金)発行 第9号

文化祭
特集号

肢体不自由教育部門小学部舞台発表

肢体不自由教育部門小学部主任 主任教諭 片山 由宇子

小学部低学年は、絵本「でんしゃにのって」をモチーフに、電車が停まる各駅で児童たちがグループごとに演奏、ダンス、運動などの学習成果を発表しました。会場の手拍子と声援を受けて、どのグループも楽しそうな児童たちの表情や声で一杯でした。これまでの練習の成果を存分に発揮できたと思います。

小学部高学年は、「けやき祭り」と題して、各グループの児童が、昭和・平成・令和の曲をダンスや演奏、運動などをおして発表しました。児童たちは、凛とした表情で着実に発表を行い、最後に全員が集まったフィナーレの表現では、達成感に満ち溢れた表情でした。児童たちにとって、また一つ、これからのつながる自信や意欲を得ることができた文化祭発表になったと感じます。



知的障害教育部門小学部文化祭発表

知的障害教育部門小学部主任 主任教諭 鬼岩 真也

低学年の舞台発表「それゆけ けやき探検隊」では、1年生がリズム運動や色合わせの活動を、2年生が棒を使ったペアダンスと鈴を使った演奏を、3年生がサーキット運動を発表しました。慣れない会場の雰囲気緊張する様子が最初は見られましたが、温かい声援を受けながら児童一人一人が元気いっぱいに発表することができました。高学年の舞台発表「だるまさんがやってきた！」では、国語・算数グループが福笑い作りを、音楽グループがベルやタンブリンを使った演奏を、体育グループがペアでのボール運び運動、最後は全員で「それもいいね」のダンスを発表しました。本番までの練習をとおして、舞台上での自分の動きや立ち位置を理解し、自主的に行動する様子も多く見られ、大変立派でした。

発表後に多くの保護者やお客さんから、「上手だったね。」「頑張ったね。」と褒められたことは、児童たちにとって大きな自信となったことと思います。温かい拍手と御声援、ありがとうございました。

展示では低学年が紙粘土で作ったお皿や食べ物、ちぎり絵作品などを、高学年がフォトフレームや紙版画作品などを展示しました。一つ一つの作品から溢れる児童たちの個性を楽しんでいただくことができました。



肢体不自由教育部門舞台発表

肢体不自由教育部門中学部主任 主任教諭 佐藤 英樹

中学部の文化祭舞台発表は「A中タイムトラベラー」と題して、生徒たちがグループごとにいろいろな時代にワープする劇を発表しました。最初は鎌倉時代の流鏑馬からスタート、華麗に弓矢を放ちました。次は、明時代治初期の懐かしい「あんたがたどこさ」が流れて、バルーンを使った華麗な演舞を披露しました。生徒たちの衣装も目を奪われるほどの美しさでした。昭和の時代では、バンド演奏が始まり、音楽の授業で練習を重ねてきた曲を奏でました。その次は、時代をもっとさかのぼり、縄文時代の人々が石器で作った槍でクマと闘いました。クマ鍋を作るために、火起こし器で火をつけた後は、縄文ファッションを披露しました。続いて平成時代に流行した歌番組を模した発表も、令和の時代には無い懐かしさを醸し出しました。最後は、中学部全員でオリジナルソングを歌って幕を閉じました。全員が練習の成果を存分に発表することができました。



知的障害教育部門中学部舞台発表

知的障害教育部門中学部 主任教諭 松村 健一

今年度の知的障害教育部門中学部の文化祭舞台発表は「めざせ！クイズアイランド」でした。生徒たちが三つの島を冒険する劇を発表しました。日々の学習をテーマにしてクイズを出題し、回答してお宝を手に入れるというコンセプトで楽しく演技しました。一番目の島は、「ふちゅうアイランド」。日々の生活単元学習や総合的な学習の時間からヒントを得て、リサイクルや学校給食に関する事柄について発表しました。次の島は、「すもうアイランド」。保健体育で行った相撲の学習成果を披露しました。最後の「ばばんばばん島」では、三年生が箱根へ修学旅行で行ったときに学習した内容をクイズにしました。生徒たちの衣装や自分たちで作った小物や大道具、海と空の背景画も見どころでした。最後は中学部全員でマツケンサンバに合わせて楽しく踊り、幕を閉じました。毎日の練習の成果を学部全体で発表することができました。



笑顔と熱気に包まれた文化祭 ― 肢体不自由教育部門高等部の挑戦！

肢体不自由教育部門高等部主任 主任教諭 平田 愛子

高等部の生徒たちは、グループごとに趣向を凝らした模擬店や発表を行い、来場者を楽しませてくれました。**Aグループ**は、迫力ある「バンド演奏」で会場を盛り上げました。練習を重ねた演奏は、観客の心をつかみ、アンコールの声が響くほどの熱気に包まれました。**B1グループ**は、作業学習で丁寧に作り上げた「クリアファイル」を販売。デザインや仕上がりにこだわった作品は、来場者から「欲しかった！」と大好評でした。**B2グループ**は、ユーモアたっぷりの劇「とんでもない」を披露。笑いあり、驚きありの展開に、観客は最後まで引き込まれていました。**C1グループ**は、「C1農園 de うんとこしょ！どっこいしょ！」と題した模擬店を出店。自分たちで育てた野菜を使ったメニューや展示は、自然の恵みを感じさせる温かい空間を演出しました。**C2グループ**は、「運命の三本勝負」というユニークな模擬店で勝負を楽しむ企画を展開。来場者同士の対決は大盛り上がりで、笑顔が絶えませんでした。それぞれのグループが工夫を凝らし、仲間と協力して作り上げた文化祭。生徒たちの頑張りと創造力が光る一日となりました。御来場いただいた皆様、ありがとうございました。



知的障害教育部門高等部舞台発表

知的障害教育部門高等部主任 主幹教諭 梅景 靖之

【1年生】「けやき万博」というテーマのもと、各国の特色をダンスやショーにして発表しました。練習から生徒たちが主体的に活動し、本番では大成功を収めることができました。また、学年全員で行ったソーラン節は、体育と音楽の授業で練習を重ねました。本番は生徒たちの掛け声も一段と大きく、来場者を圧倒するほどの素晴らしいものとなりました。



【2年生】「魅せまっせ！～ぼくらのなにわ修学旅行記～」のタイトルのもと、これから向かう修学旅行先の大阪をテーマにした演劇スタイルの舞台に取り組みました。美術の授業で作成したイラストパネルやお好み焼き、たこ焼き装置を使ったパフォーマンス、ダンス、歌など、どの演技や場面も手拍子に合わせて楽しく表現することができました。最後の合唱「行ってきます。」では、大阪への期待を胸に皆で歌い上げることができ、客席からも沢山の拍手と声援を受けました。



【3年生】毎年、テレビ番組をイメージした発表を行ってきた3年生。最高学年として迎えた今年の文化祭では、「けやきの果てまでイッテQ！」というタイトルのもと、事前撮影した動画を交えながら世界を巡る宝探しの旅を表現しました。フランスでは料理パフォーマンス、エジプトでは巨大ボウリング、アメリカでは3種のダンスを披露し、客席はもちろんのこと、ステージ裏からも「頑張れ！」と生徒同士言葉を掛け合う場面が印象的でした。生徒たちが一丸となって準備を行い、お互いの頑張りを称えあってきたからこそその姿でした。かけがえのない友達という宝を見つけ、感動のフィナーレとなりました。



くぬぎ分教室府中療育センター祭り

肢体不自由教育部門くぬぎ分教室 主任教諭 磯山 亜紀子

10月24日(金)、府中療育センター祭りに参加しました。

ここ数年間、劇や学習の取組みをDVD作品として上映してきましたが、今年は初めて「ゲームコーナー」を出店しました。

「くじびきワッショイ!!～ハッピーチャンス!～」というタイトルで、お客さん側から引っ張ったロープ(4本のうち1本)と反対側のくぬぎの児童・生徒が引っ張ったロープがつながっていたら「大当たり」というものです。プレゼント(しおり)や装飾の準備、くじびきゲームの活動、お客様へのおもてなし…。準備から当日まで、児童・生徒が自分の得意な力を発揮して大活躍でした。

何より、たくさんのお客さんと『楽しい!』と『笑顔!』を共有できたことが、かけがえのない貴重な経験となりました。



くぬぎ分教室校外学習

肢体不自由教育部門くぬぎ分教室 教諭 川畑 美奈

分教室では、二つのグループに分かれて、校外学習を実施しました。

行き先は、どちらも府中郷土の森博物館です。事前学習では、「いつ」、「どこへ」、「誰と」を確認して、一人一人が「自分の目標」を立てました。

Aグループは、10月22日(水)に行いました。雨が降って肌寒い一日でしたが、往復のバスの中、博物館内での見学、ともに楽しむことができました。館内のミニシアターや展示物をじっくり見学し、好きなものを見つけて写真を撮るなどの学習活動を行いました。

Bグループは、10月29日(水)に行いました。穏やかな天気の中、バスレクではクイズ大会もあり、和気あいあいでした。博物館の見学は、迫力満点の展示物に興味を惹かれ、本物に触れる良い学びとなりました。最後は、博物館前の道をぐりと散策して帰路につきました。

実施にあたり、お力添えをいただきました府中療育センターの皆様には、心から感謝申し上げます。これからも、府中療育センターの皆様との連携を深め、協働することにより、教育活動の充実を図ってまいります。





肢体不自由教育部門小学部 1 年校外学習

肢体不自由教育部門小学部 1 年 主任教諭 秋元 奈緒

10 月 21 日 (火)、入学して初めての学年行事、「府中市立郷土の森体育館」へ行きました。体育館では、じゃんけんゲームをしました。音楽が流れている間はたくさん動き、音が止まった時に近くにいる友達とじゃんけんです。ぐー・ちょき・ぱー、何を出そうか考えていざ勝負。「あいこ」と「勝ち」の児童はゲットシールがもらえます。シールがもらえるかどうか、結果を待つドキドキ感や嬉しそうな表情がとても印象的でした。昼食では色とりどりのお弁当をお腹いっぱい食べました。心配していた雨にも降られず、帰りのバスに向かう道中、園内の蒸気機関車や蓮池の前でたくさん記念撮影を行いました。帰校後は少し疲れた様子が見られましたが、笑顔もたくさん見られ、初めての活動での充実感をうかがうことができました。当日残念ながら欠席した児童も学校での活動の中でじゃんけんゲームやパラバルーンと一緒に楽しむことができました。

保護者の皆様にはお弁当の準備や初めての校外での活動に対する様々な御協力をいただき、本当にありがとうございました。この経験をとおして、学校での学習活動における自信や意欲につながるよう、継続的に指導をしてまいります。



肢体不自由教育部門小学部 2 年校外学習

肢体不自由教育部門小学部 2 年 教諭 是清 裕隆

肢体不自由教育部門小学部の 2 年生は、10 月 28 日 (火) に府中市郷土の森体育館へ行きました。昨年度と同じ場所ですが、今年度は天候も良く、周辺の公園散策ができました。展示されているバスの運転席に座ったり、池の鴨を眺めたりして楽しむことができました。撮影も外で行うことができ、昨年度とはまた一味違った笑顔がたくさん見られました。

事前学習では、それぞれがオリジナルの旗を作りました。また、「自分たちでレクを盛り上げよう」をテーマに、リクエストのあった楽曲や学年で人気の「マツケンサンバⅡ」などの曲で、当日は体育館で旗を使ったダンスを楽しみました。

学校に戻ってからは、校外学習のテーマソングをギターに合わせて「校外学習に行ってきた!」と歌って、大盛り上がり的一天でした。

保護者の皆様には、校外学習に向けての御協力をいただき、ありがとうございました。



肢体不自由教育部門小学部『水道キャラバン』

肢体不自由教育部門小学部 4 年 教諭 山本 福子

10 月 14 日（火）、3 年生以上の一部児童が、東京都水道局による出前授業『水道キャラバン』に参加しました。水道局の方から、「安心・安全でおいしい水」が届けられる工夫や仕組みについて、分かりやすい説明を受けました。

水がどこから来て、どこを通過して家の蛇口から出てくるのか、映像を見て説明を聞き、自分たちで濁った水を澄んだ水にする実験を行って理解を深めました。実験は、濁った水に薬を入れ、よくかき混ぜて汚れを沈殿させ、小石や砂でろ過をすると澄んだ水になる！という過程を、グループのメンバーと協力して作業しました。水が薬を入れると固まったり、ろ過してきれいになったりするという一つ一つの変化に、児童たちは驚きの声を上げ、じっと見入っていました。

今回の「水道キャラバン」は、学びの楽しさとともに、児童たちが自然や水の大切さを知る貴重な体験となりました。



けやき S D G s プロジェクト～堆肥計画～野菜くずの冒険

知的障害教育部門中学部主任 主幹教諭 柳 明良

9 月からスタートした『野菜くずの冒険』ポイントカード活動ですが、文化祭において初回の交換を行いましたので、そのときの様子をお知らせします。なお、交換品は以下のとおりです。

完熟堆肥：250g 入り

種：チューリップの球根 1 つ

野菜：さつまいも



野菜くずの冒険は後期に入っています。次回の交換は 2 月を予定しており、今年度最後となります。

これまでの活動をとおして、児童・生徒からは「楽しかった」、「またやりたい」といった声が寄せられています。御家庭の御協力に深く感謝申し上げます。

今後も、環境教育の一環としての取組に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

東京都特別支援学校体育連盟ティーボール大会

知的障害教育部門球技部ソフトボール部門顧問 教諭 小林 雅弥

9月30日（火）、東京都特別支援学校・特別支援学級設置学校体育連盟ソフトボール・ティーボール大会に知的障害教育部門高等部の生徒11名が出場しました。

1回戦、八王子南特別支援学校Bチームと対戦しました。打線が繋がり得点を重ね、見事勝利することができました。その後の決勝戦では、八王子南特別支援学校Aチームと対戦し、相手の好守に阻まれ、惜しくも敗退となりました。守備面や打撃面で、課題を見つけた一方、チームメイトを応援する姿や最後まで諦めず戦い抜く姿が見ることができました。

キャプテンを中心に、来年のティーボール大会を見据え、優勝を目指して今後の部活動に励んでいきます。この度は、たくさんの御声援をいただき、ありがとうございました。



東京都特別支援学校体育連盟サッカー大会

知的障害教育部門球技部サッカー部門顧問 教諭 鈴木 堅也

11月4日（木）に、東京都特別支援学校・特別支援学級設置学校体育連盟サッカー大会に球技部サッカー部門の生徒9名が参加しました。

昨年度の同大会で本校は準優勝しており、今年度は、優勝を目標として大会に参加しました。予選では、八王子西、多摩桜の丘、練馬、江東と対戦しました。4戦4勝と快勝し、7チーム中1位で予選を突破することができました。準決勝では、西新宿中学校と対戦し、2-1と接戦を制し、決勝に駒を進めることができました。決勝戦の相手は、予選でも対戦した江東でした。両者譲らない白熱した試合展開でしたが、試合時間が残り僅かのところで失点を許してしまいました。それでも、最後まで諦めることなく戦い抜きましたが、結果は、0-1で敗れ、準優勝という成績で大会を終えました。

目標を達成することができず、悔しさが残る結果にはなりましたが、大会を通じて、試合でしか感じるできない楽しさや緊張感、仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。また、日頃の練習の成果を発揮することができ、日々の積み重ねが重要であることを実感できる大会となりました。

たくさんの御声援をいただきありがとうございました。今後も御協力のほど、よろしくお願いします。

